

事務事業名		大学等入学資金融資事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課
	政策	1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり					担当係	総務係	担当課長名	吉田 重弥	
	施策	2 安全で安心して学べる教育環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 教育の機会均等に資する奨学金制度の拡充					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	12560	一般	10	1	2	大学等入学資金融資事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S50年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市入学資金融資条例 佐野市入学資金融資条例施行規則		市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
								任意的事業・義務的事業		任意的事業	
								実施方法		直営	
								事業分類		融資・貸与事業	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
								市長マニフェスト		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)						平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
大学等に入学するに当たり、入学金、施設費等で入学時に要する資金の調達を必要とする市民で金融機関の融資制度のあっせんを受けた対象者に、その利子の一部を補填している。(事業内容の見直しにより平成23年度から新規募集は行わず、現在の利用者の返済完了をもって事業廃止の予定)						借入金にかかる信用保証料金の補填を行うとともに、借入利子の1/4を補填している。						
						活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
						融資あっせん件数	件	0	0	0	0	0
						融資あっせん延べ件数	件	1	1	1	1	1
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
市内に1年以上居住し、市税を完納していて、融資資金の償還が確実にできる入学予定者の保護者で融資を受けることを希望する人						対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
						融資あっせん希望件数	件	0	0	0	0	0
目的												
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
入学時に要する資金の調達の可能性を広げる。						成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
						融資あっせん件数/融資あっせん希望件数	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
④結果(どのような結果に結びつきますか?)												
進学に伴う経済的な不安が解消される。						上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
						市奨学金制度の利用率(新規貸与決定者数/新規貸与希望者数)	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	271		214		155		95		32	
	一般財源	千円	6		5		3		2		1	
	事業費計(A)	千円	277		219		158		97		33	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			21.預託金	271	21.預託金	214	21.預託金	155	21.預託金	95	21.預託金	32
			19.利子補給料	6	19.利子補給料	5	19.利子補給料	3	19.利子補給料	2	19.利子補給料	1
人件	正規職員従事人数	人	1		1		1		1		1	
のべ業務時間	時間	50		50		50		50		50		
人件費計(B)	千円	195		197		197		197		197		
トータルコスト(A)+(B)	千円	472		416		355		294		230		

事務事業名	大学等入学資金融資事業	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課	担当係	総務係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和50年頃より、上級学校進学希望者が増え、それに伴い入学時に一時的に多額の費用がかかったため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国内の経済状況の悪化のため、一家庭が学費にかけられる金銭的状況の限界や年々増加する学費等の納入金の増。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	貸付条件の緩和

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	入学時に要する資金を低廉に調達できれば経済的負担の軽減となり教育の機会均等につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	入学時に要する資金の低廉な調達の可能性を広げ修学の機会を与えることは、市の財産となる人材を育成するという行政の役割の一助となるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	入学時に要する資金の調達を必要とする市民に対してその低廉な調達の可能性を広げているため、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	金融機関に対して市としてあっせんをするためには対象者に一定の要件を求めることは必要で現在のものは妥当である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	金融機関に対して市としてあっせんをするため一定の要件を確認する事務は不可欠であるが、担当職員1人で行っており、これ以上削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	融資を受けた人がそれを返済するシステムであり適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
事業内容の見直しにより平成23年度から新規募集は行っておらず、現在の利用者の返済完了をもって本事業を廃止する。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			